

トキ 野生復帰にむけて

59



第2回 放鳥後のトキについて

環境省佐渡自然保護官事務所 自然保護官 笹渕 紘平

9月29日に、第2回目となるトキの放鳥を行い、20羽のトキが佐渡の上空に羽ばたきました。これで佐渡島内には現在24羽のトキが生息していることとなります。昨年の放鳥後に比べトキを見かける機会も増え、市民の皆さまにとってではないでしょうか。

もしトキを見かけたらトキ交流会館（フリーダイヤル0120-980-551）、または、お近くのトキ保護監視員へ情報をお寄せください。また、パソコンや携帯からも目撃情報を投稿できます。

佐渡トキ保護センター野生復帰ステーション ホームページ

<http://www4.ocn.ne.jp/~ibis/station/index.html>

携帯で投稿される方はQRコードを読み込んでください。



市民の皆さまからいただいた情報が、トキの野生復帰を進めるための重要なデータとなりますので、ぜひご協力をお願いします。

また、トキを見るときは、双眼鏡などを使って遠くから静かに観察してください。車の中から観察する方がトキは驚きません。そのほか「トキとの共生ルール」を守って、人とトキの共生を目指しましょう。

トキとの共生ルール

- ① 優しく静かに見守りましょう。
- ② トキに餌づけをしないようにしましょう。
- ③ トキを観察するときには地域に迷惑をかけるないようにしましょう。
- ④ 繁殖期間は、トキの巣に近づかないようにしましょう。

ただし、農林業等に従事されている方は、田んぼ等で作業中にトキが近くにいると特別な配慮は必要ありません。



世界遺産登録に向けて

佐渡市歴史的建造物悉皆調査⑦

真野地区 その2

○大願寺（佐渡市四日町）

貞和元年（1345）開基と伝わる時宗寺院で、国府川の橋の近くにある念仏の道場であったことから、「府中橋本の道場」とよばれ、広く庶民の信仰を集めました。天正17年（1589）、上杉氏の佐渡攻めの際に寺堂は焼失してしまいました。慶長13年（1608）、佐渡代官であった大久保長安の寄進を受け再建されました。本尊の阿弥陀如来像は鎌倉時代の作で、県の有形文化財に指定されています。

さされます。そのほか1600年代後期の作とみられる山門や、1700年代に遡る天満宮、地藏尊などの建造物も存在します。「満松山」の山号が示すとおり、かつて連歌の寺として知られた往時の雰囲気は今に伝えています。



現在の本堂は、明和年間（1764〜71）に大規模な改修を受けていますが、1600年代に遡る建築様式を残す部位もみられ、今後詳細な調査を行うことで建物の全貌が明らかになると想定

◆市役所世界遺産推進課
☎635136

世界遺産連続講座

「金と銀の島佐渡 一鉱山とその文化」

開催 入場無料、申し込み不要です。

○10月31日(土) 午後1時～3時

会場 市役所真野行政サービスセンター
3階 大会議室

・「西三川砂金山笹川集落」

講師 中村義隆さん

(市文化財保護審議会委員)

・「笹川集落の地割と土地利用の変遷」

講師 堀 健彦さん

(新潟大学人文学部准教授)

世界遺産出張説明いたします

市民の皆さまが主催する勉強会や現地見学会などに、世界遺産推進課職員が出向き、お話し・解説をします。お気軽にお問い合わせください。

